



淡路島一市推進事業

2019全島タウンミーティング
～皆で掲げよう、淡路はひとつ～



2019全島タウンミーティング

事業報告書

一般社団法人淡路青年会議所

出藍の誉れたる覚悟をもって

2019年度一般社団法人淡路青年会議所

淡路島一市推進事業報告

一般社団法人淡路青年会議所は創立当初から「淡路はひとつ」を基本理念として掲げ、常に淡路島をひとつと捉え、問題提起や課題の解決を行ってまいりました。その中で長く取り組んできた「淡路島一市運動」を今年度はさらに推進する形で活動を行ってまいりました。

平成の大合併の折、2005年に南あわじ市と淡路市が、2006年に洲本市が合併し、淡路島三市体制となりましたが、合併後10年以上が経過し、当時と現在では淡路島が置かれている状況は大きく変わってきています。そのため各行政体だけでは解決しきれなかったことについて、行政区分を超え淡路島全体で取り組むという姿勢に変化し、淡路島総合観光戦略や地域公共交通網形成計画の策定等、淡路島をひとつの地域として内外での取り組みが増えてきている状況です。そのような中私たちは淡路島一市運動を昨年再始動し、淡路島の未来を創る議員連盟との懇談会、淡路島一市意識調査アンケート、そして淡路島一市フォーラム～未来への選択～を開催いたしました。広く島民の意識醸成を図るために行いましたが、結果として見えてきたものは、淡路島一市に向けての多くの賛同や実感を得られたものの、課題や問題提起など否定的な声もまだ色濃く残っているのも事実であり、議論が島民全体へ広がっていないことと、淡路島一市への関心という意味では、特に若い世代への周知ができておらず、啓発活動が不十分であると感じました。

だからこそ今年度においても淡路島一市運動の推進を行い、全島民が自らよりよいまちづくりについて積極的にそして、真剣に議論し合える場の創出が必要であると考えました。地域を変えていくためにはそこに住む人々の意識が変革することが重要です。自分たちが地域の自治を担うという強い意志を持つことは、未来について責任を持つことに繋がります。そして地域の住民が能動的に行動を起こすことができるように意識を変革していくことこそが私たちがしなければならないことでもあります。

こうした状況のもと、当会議所では島民一人ひとりが課題や将来について考え、議論し、意思決定を行う土壌を形成し、島民主導でのまちづくりという気運を更に高めていくために、今年度淡路島一市運動推進事業として「2019全島タウンミーティング～皆で掲げよう、淡路はひとつ～」を実施する運びとなりました。

事業概要は以下の通り。

1. 事業名称 「2019全島タウンミーティング～皆で掲げよう、淡路はひとつ～」

2. 事業概要 淡路島一市推進事業の前段として未来の淡路島を担っていく若い世代の立場から見た現在の淡路島、また今後の淡路島について議論を交わす、島内高校生を対象とした模擬議会「2019全島高校生議会～皆で掲げよう、淡路はひとつ～」を開催。
その後、三市でのタウンミーティングを実施。高校生議会出でた質問や提言を踏まえ、一般市民、行政、民間企業、各種団体の垣根を超えて意見交換と知識共有を行った。

3. 実 施
 - ① 淡路市
 - ・開催日：2019年9月14日(土)
 - ・会 場：淡路市中央公民館3F大ホール 淡路市志筑3117-1
 - ・動員数：80名

 - ② 南あわじ市
 - ・開催日：2019年9月21日(土)
 - ・会 場：広田市民交流センター3F大ホール
南あわじ市広田広田1057-1
 - ・動員数：50名

 - ③ 洲本市
 - ・開催日：2019年9月28日(土)
 - ・会 場：洲本市経済交流センター2F多目的ホール 洲本市本町4-5-3
 - ・動員数：80名

4. 広報・広告掲載・PR活動（主なもの）
 - ・事業参加促進チラシ
事業参加募集を発信するためのチラシを発行。
 - ・新聞折り込み

島内全域に神戸新聞の折り込みチラシ43000部を配布。

- ・事業告知記者発表

マスコミ向けに事業告知の記者発表を実施タウンミーティングの日程を新聞各紙CATVに事前告知。

神戸新聞、産経新聞、読売新聞、淡路島テレビジョン

- ・機関誌、HP告知等

淡路青年会議所機関誌、HP、SNS等での事業告知と事業参加募集の案内。

- ・行政関係・各種団体への募集案内

淡路市役所、洲本市役所、南あわじ市役所、淡路市議会、洲本市議会、南あわじ市議会兵庫県議会、淡路市商工会、洲本商工会議所、南あわじ市商工会、(一社)淡路島観光協会、(一財)淡路島くにうみ協会など



2019年度 一般社団法人淡路青年会議所

淡路島一市推進事業

2019全島タウンミーティング～皆で掲げよう、淡路はひとつ～

次 第

日 時 2019年9月14日(土)
17:00 ~ 19:30
場 所 淡路市中央公民館
3 F 大ホール
司 会 赤 松 栄

1. 開 会
2. 理事長挨拶 一般社団法人淡路青年会議所理事長 藤井 宏昌
3. 来賓挨拶
4. 来賓紹介
5. 趣旨説明
6. タウンミーティング
7. 提 言 一般社団法人淡路青年会議所委員長 中川 貴弘
8. 謝 辞 一般社団法人淡路青年会議所副理事長 三浦 義崇
9. 閉 会

出藍の誉れたる覚悟をもって



2019年度 一般社団法人淡路青年会議所

淡路島一市推進事業

2019全島タウンミーティング～皆で掲げよう、淡路はひとつ～

次 第

日 時 2019年9月21日(土)
17:00 ~ 19:30
場 所 広田市民交流センター
3 F 大ホール
司 会 増 田 裕

1. 開 会
2. 理事長挨拶 一般社団法人淡路青年会議所理事長 藤井 宏昌
3. 来賓挨拶
4. 来賓紹介
5. 趣旨説明
6. タウンミーティング
7. 提 言 一般社団法人淡路青年会議所委員長 中川 貴弘
8. 謝 辞 一般社団法人淡路青年会議所副理事長 三浦 義崇
9. 閉 会

出藍の誉れたる覚悟をもって



2019年度 一般社団法人淡路青年会議所

淡路島一市推進事業

2019全島タウンミーティング～皆で掲げよう、淡路はひとつ～

次 第

日 時 2019年9月28日(土)
17:00 ~ 19:30
場 所 洲本市商工会議所
2F多目的ホール
司 会 藤 野 雅 大

1. 開 会
2. 理事長挨拶 一般社団法人淡路青年会議所理事長 藤井 宏昌
3. 来賓挨拶
4. 来賓紹介
5. 趣旨説明
6. タウンミーティング
7. 提 言 一般社団法人淡路青年会議所委員長 中川 貴弘
8. 謝 辞 一般社団法人淡路青年会議所副理事長 三浦 義崇
9. 閉 会

出藍の誉れたる覚悟をもって

事業風景（淡路市）



事業風景（淡路市）



事業風景（南あわじ市）



事業風景（南あわじ市）



事業風景（洲本市）

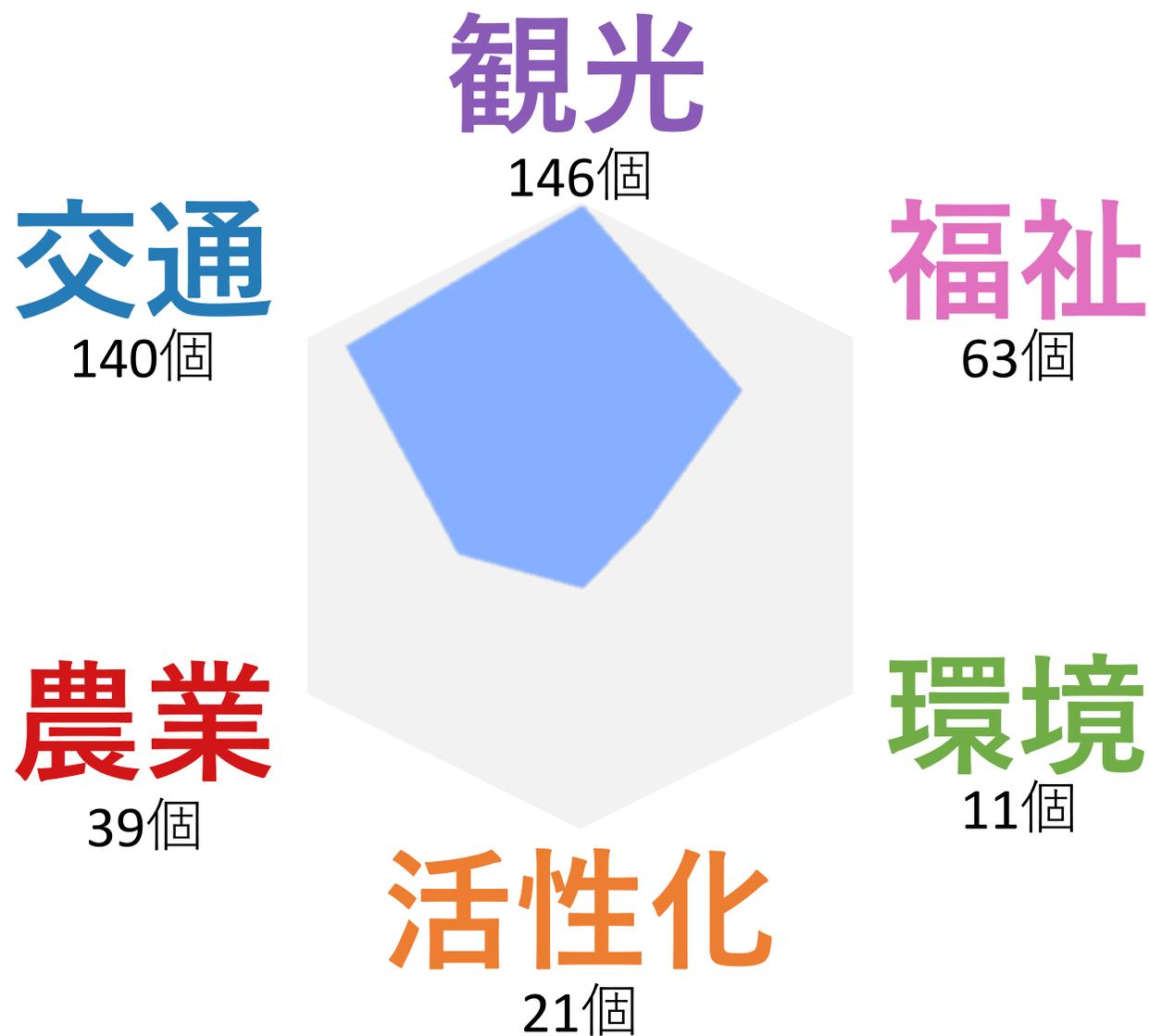


事業風景（洲本市）



ワークショップの意見の集約

ワークショップで活発に意見が集まった分野



ワードクラウド 1. 観光



ワードクラウド 3. 福祉



ワードクラウド 4. 農業



ワードクラウド 5. 環境



ワードクラウド 6. 活性化



3市対1市メリット・デメリットの検証

メリット

- ◆ 島外への発信を効果的にできる
- ◆ 点在する観光地を淡路島全体としてつなげることができる
- ◆ 1市の方がインフラが効果的に整備できる
- ◆ 淡路島全体としての路線網を考えられるようになる
- ◆ 福祉タクシーや乗り合いバスなど、高齢者を支えるサービスにおいてスケールメリットを発揮できる
- ◆ 3市それぞれの農業ノウハウを交換しあい、淡路島として農業力を高めていくことができる
- ◆ 島内全体の自然を生かした再生可能エネルギーのポテンシャルを発揮できる
- ◆ 島を取り巻く海や河川等の自然環境を統合的に保全できる

- ◆ 役所までの距離が近い等、地域の行政サービスにアクセスしやすい
- ◆ 行政と地域住民の距離感が近いこと、住民のニーズを把握しやすい

1 市

3 市

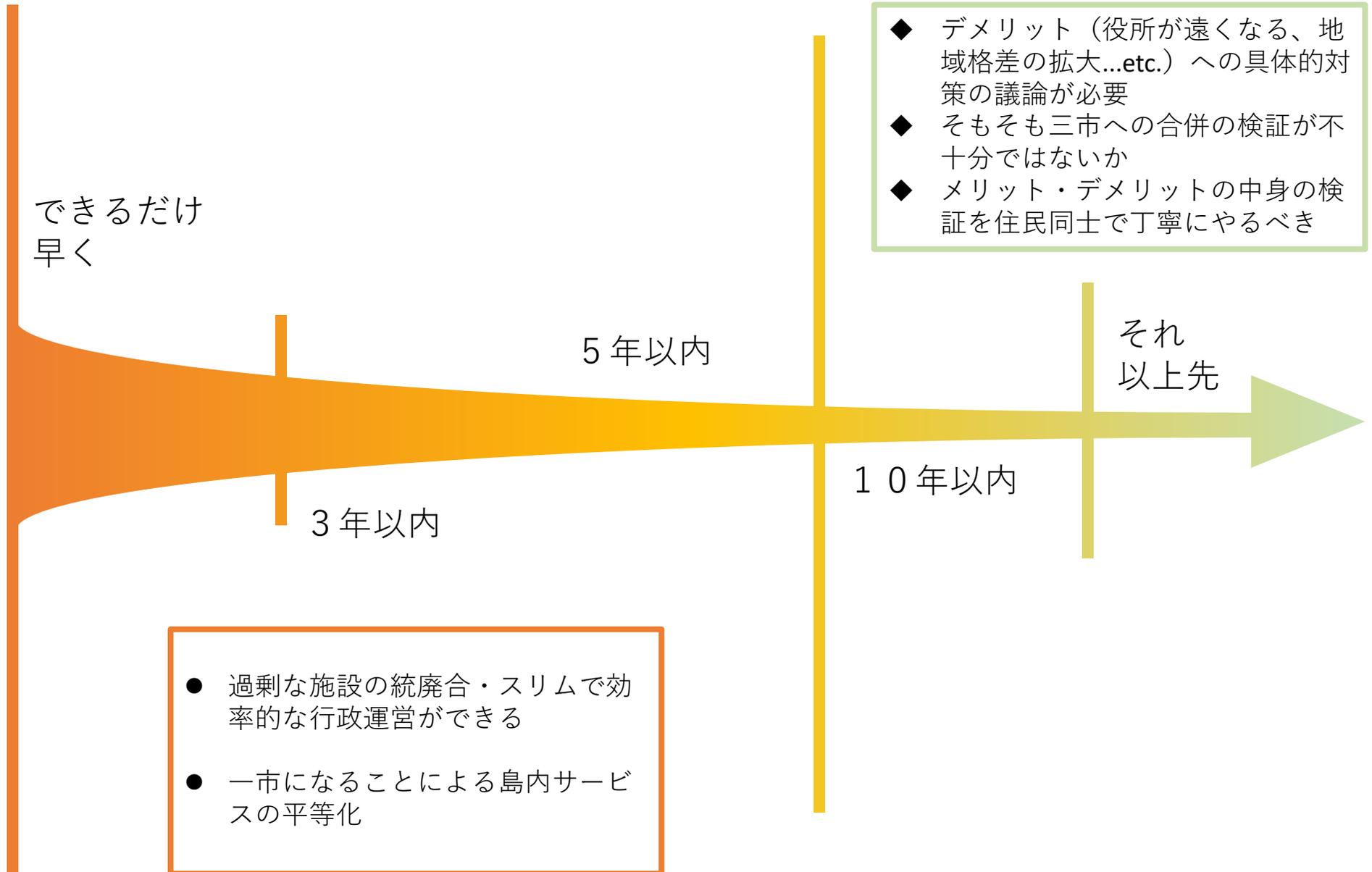
- ◆ 人口密集エリア以外の福祉、交通などのサービスが低下する可能性がある
- ◆ 淡路島ブランドとして商品価値の高い作物以外の、在来の作物の栽培が減少する可能性がある
- ◆ 小規模コミュニティの固有の文化や歴史が廃れる可能性がある
- ◆ 警察や消防などの公務員が減り、行政サービスの質が低下する可能性がある
- ◆ 新しい市の名称決めで混乱が起きる可能性がある

- ◆ 1市あたりの予算が小さいために、単独の自治体ではサービスを維持できない分野が出てくる可能性がある
- ◆ 3市別々だと、島外への発信が非効率的である
- ◆ 市をまたぐエリアに移動しづらい

デメリット

いつ淡路島は一市になるべきとお考えになりますか？

いつ淡路島は一市になるべきとお考えになりますか？





この度、2019年度の一般社団法人淡路青年会議所の事業として2019全島タウンミーティング~皆で掲げよう、淡路はひとつ~を開催させていただきました。当事業では、8月28日に高校生議会、9月14日、9月21日、9月28日と3週に亘って淡路市、南あわじ市、洲本市とタウンミーティングを行うことで、多くの世代の方々に淡路島一市について考えていただき、対話をする機会を創ることができました。タウンミーティングには年齢も職種も幅広い方々に参加していただき、上は70代から下は高校生まで、そして常に地域のことで活躍されています市議会議員の皆様から会社員や学生の方々に対話していただくことができました。

事業後のアンケートでは、淡路島一市に対する様々なご意見はありましたが、開催したことに対しては好印象な意見をいただくことができました。そして、島民の皆様は淡路島一市について興味を持っていただき、淡路島の明るい未来について想いを馳せていただけたる時間を共有できたのではないかと考えております。

今後も当青年会議所は淡路島一市運動を継続して行い、明るい豊かな淡路島を目指して活動してまいります。

一般社団法人淡路青年会議所
理事長 藤井 宏昌